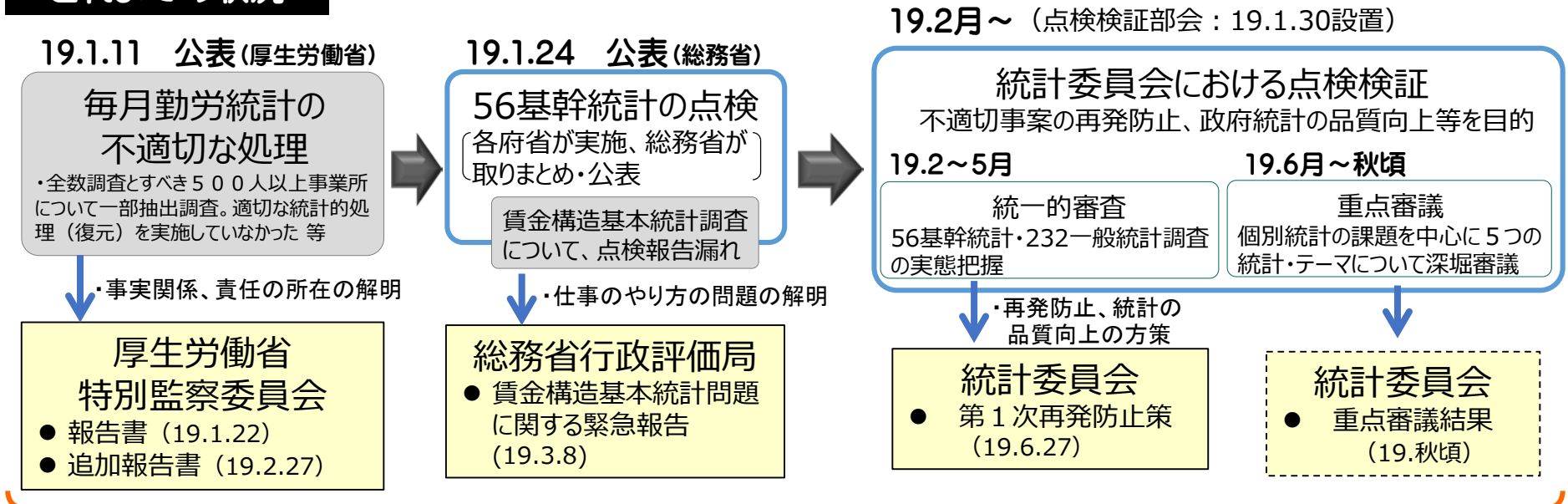


これまでの状況



骨太方針2019(19.6)

・統計改革推進会議に、今般の事案を受けた総合対策の検討体制と、政策部門と連携した不断の統計改革推進体制を構築する

今後の取組

統計改革推進会議

統計行政新生部会 <新設>

・統計委員会の再発防止策等を踏まえた総合的な対策を検討。月1回程度開催し、年内メドに取りまとめ(構成員)有識者

統計改革調査部会 <新設>

・統計の体系的整備と個別統計の改善に関する課題を把握し、統計の品質改善に向けた不断の改革について調査(構成員)各府省統計幹事、EBPM統括責任者等

統計改革推進会議 統計行政新生部会について

1. 目的

毎月勤労統計の事案に端を発する統計行政の問題について、再発防止にとどまらない、国民に真に信頼される政府統計の確立に向けた総合的な対策を検討

※骨太方針2019－統計改革推進会議に、今般の事案を受けた総合対策の検討体制を構築

○審議事項(例)

統計委員会第1次再発防止策、厚労省特別監察委員会報告、総務省行政評価局報告を踏まえ、これらに含まれていない事項も審議

①ガバナンス(統計行政機構、統計委員会の機能)

②人材の確保・育成(専門性の確保、職員の意欲向上)

③業務改革(IT化、BPR推進等)

2. 構成員(11名)

(座長)佐久間 総一郎 日本製鉄常任顧問
秋池 玲子 ポストコンサルティンググループ
マネージング・ディレクター&シニア・パートナー
川崎 茂 日本大学経済学部特任教授
椿 広計 情報・システム研究機構理事
統計数理研究所長

土居 丈朗
西村 美香
原田 智
原田 久
三木 浩平
横田 響子
美添 泰人

慶應義塾大学経済学部教授
成蹊大学法学部教授
京都府情報政策統括監
立教大学法学部教授
内閣官房政府CIO補佐官
株式会社コラボラボ代表取締役
青山学院大学経営学部プロジェクト教授

3. スケジュール

月1回程度開催し、年内メドに取りまとめ

統計改革推進会議 統計改革調査部会について

1. 目的

ユーザーの視点を活用しつつ、統計の体系的整備と個別統計の改善に関する課題を把握し、統計の品質改善に向けた不断の改革について調査

※自民党行政改革推進本部提言－統計の体系的整備等の対処方針等を提言する常設部会を設置

※骨太方針2019－政策部門と連携した不断の統計改革実施体制を構築

○ 審議事項(例)

総合的な統計改革の在り方について調査。統計の体系的整備及び個別統計の改善に関する調査
審議、統計改革に関する各府省の取組のレビュー等を実施

2. 構成員

各府省のEBPM統括責任者、総括統計幹事、各府省の統計幹事、内閣官房統計改革推進室長及び総務省統計委員会担当室長

※統計幹事等を通じて統計委員会とも連携。

※なお、部会を効率的に運営するため、主要な部会構成員からなる幹事会を置く。また、部会で行った調査結果の検討を深めるため、学識経験者、統計実務家等を交えた検討会を設置可能。